

平成29年度 三学期終業式挨拶

皆さん、おはようございます。

先日の卒業式で136名の3年生を送り出し、今日の終業式はやや寂しいように感じていましたが、今の挨拶でその心配がないように思いました。

さて、今年度は、愛媛県で国体が開催され、丹原高校もT-g i r l sの皆さんが開会式で活躍してくれたり、この体育館で全国から来たソフトボールチームの皆さんへの寄せ植えをつくったりするなど、様々な場面で皆さんは貢献してくれました。

また、運動会や文化祭、菊花展などの学校行事や部活動、学校外でのボランティアなど皆さんの取組は常に真剣でひたむきでした。愛媛新聞に丹原高校に関わる記事が今年は20回以上掲載されたことは、そういった皆さんのひたむきな頑張りの結果ではないかと思います。ここで、改めて皆さんの一年間の頑張りに感謝したいと思います。

私からは皆さんにこの一年間「気持ちのよい挨拶をすること」をお願いしてきました。校内では、本当によく気持ちのよい挨拶をしてくれるようになったと思います。まれに、元気がない挨拶に出会うことがありますが、きっと何かのサインを送ってくれているのだろうと思うこともできます。この「気持ちのよい挨拶をすること」のゴールは、地域の方から、「丹高生はよく挨拶してくれる」と言われるようになることです。これからもよろしくお願いします。

さて、卒業式では「ないもの探し」から「あるもの探し」への考え方の転換が必要であるということをお話ししました。これは地域を元気にするために必要な考え方であるとともに、皆さん自身が大きく成長していくためにも必要なことであるということも併せて話しました。そして、二学期終業式では「自分としっかり向き合うこと」、三学期始業式では「自分に自信を持つ」ということをお願いしましたが、自分自身の中の「あるもの探し」とは、自分のいいところやこれは頑張れるということを見つけることです。自分が住んでいる地域の素晴らしさになかなか気づけないように、自分自身のよさに気づくのは意外に難しいことなのです。自分の中の「あるもの探し」を行うためには「自分としっかり向き合うこと」が必要であるし、自分の「あるもの探し」ができれば、「自分に自信を持つ」ことができます。そして「自分に自信を持つ」からこそ、自分を成長させるためのモチベーションを高めていくことができるのだと思います。これから新年度の始業式までいつもより少し時間にゆとりができます。是非、この春休みには、自分自身の「あるもの探し」を行ってください。

4月から新一年生を迎えて、新しい年度が始まります。高校生の3年間というこの時期をどう過ごしたかが、その後の人生に大きく影響します。来年度も是非今年度と同じように、皆さん一人一人がそれぞれ頑張れること、丹原高校がますます元気になっていくことを願って、平成29年度三学期終業式の挨拶とします。